

体を動かすことの楽しさを

インクルーシブスポーツキャラバンin白石

11月28日、白石第二小学校体育館でインクルーシブスポーツキャラバンin白石が開催されました。このイベントは、知的障がい児保護者による支援団体「障がい者サポーターズGo! a z o!」「株式会社ベガルタ仙台」「尚絅学院大学」が共催したもので、障がいの有無に関わらずすべての人がスポーツや体を動かすことの楽しさを体感してもらうことを目的としています。昨年6月からイベントをスタートし、これまで県内各地で開催してきました。

この日は、市内外から16組32人の親子が参加し、ベガルタチアリーダーズとのダンスやアカデミーコーチによるボール運動、尚絅学院大学が企画したレクリエーションを楽しみ、体を動かす喜びを垣根なく味わいました。

同団体代表の相澤直さんは、「この活動を通して障がい者への理解を深めていきたいです」と話してくれました。



1_チアリーダーズをお手本に楽しくダンスを踊りました
2_枠の中にボールを入れるゲーム。ボールを使った運動を楽しみました 3_2人一組で協力して、ゴールまでボールを運びます

毎月7日はうーめんの日！

市内保育園でうーめんイベント

12月7日、市内保育園で毎月7日の「うーめんの日」に合わせたうーめんイベントを開催しました。このイベントは、園児たちに本市特産の白石うーめんを味わってもらいながら歴史を知ってもらい、親しみを持ってもらおうと開催。白石はるかぜ保育園では、本市のすまいるキッズアンバサダーのあきらちゃんやこじゅうろうキッズランドスタッフのまあみんちゃんたちとうーめんに関連したクイズをしたり、「白石うーめん体操」を踊ったりしながら楽しい時間を過ごしました。

また、市内8つの保育園では、午後のおやつ時間に大根やにんじんなどが入った「あなかけうーめん」が提供され、園児たちはできたてのうーめんを堪能していました。

本市では、今後も「うーめんの日」に市内保育園でのイベントを継続して実施していく予定です。



1_あきらちゃん、まあみんちゃんたちと元気いっぱい「白石うーめん体操」を踊りました
2_白石うーめんの歴史の話を聞く白川保育園の園児たち
3_優しいおいしさで郷土の味を感じました

持続可能な社会とは

SDGs研修会

11月24日、白石中央公民館で白石ユネスコ協会主催の同研修会が市内の小中学校教員を対象に開催されました。SDGsは平成27年に国連で採択された持続可能な社会構築のために掲げられた世界共通の目標で、小中学校においても、SDGsの担い手を教育現場から育成することが目標になっています。研修会では地域と学校が組織的・継続的に連携・協働するための事例などを学んだ後、参加者で意見交換を行い、今後の取り組み方について話し合いました。



▲研修会で熱心に耳を傾ける参加者

日頃の努力が大きな成果に

白石第二小学校がW受賞

同校が平成20年から継続する朝の読書活動が、文字・活字文化の振興を目的に設立された高橋松之助記念「朝の読書大賞」で全国2番目となる優秀校に選ばれました。また、児童が3人1組で課題に挑む「算数チャレンジ大会2021」で県内590チームの頂点に輝きました。

12月7日、市役所へ受賞の報告に訪れた石川裕之校長は「子どもたちの日々の頑張りが輝かしい結果に結びつき、皆さんに素晴らしい報告ができてうれしいです」と話してくれました。



▲受賞の報告に訪れた(左から)武田芽依さん、佐藤那由汰さん、青木蒼真さん、一條世嗣さん

あだ討ち囃発祥の地で

大鷹沢小学校「団七踊り引継式」

12月14日、大鷹沢小学校で「団七踊り」の引継式が行われました。団七踊りは、江戸時代に起こったあだ討ちを踊りで表現したもので、同校では地域に伝わる歴史と伝統芸能を守ろうと伝承活動に取り組んでいます。式には3～6年生の児童29人が参加、6年生から踊りに使う刀となぎなた、鎖がまを4年生に引き渡しました。引き継いだ児童は「上級生から受け継いだ伝統を守り、下級生に引き継いでいきたい」と力強く決意を話していました。



▲引き継いだ4年生の踊りを真剣に見守る6年生